

第 54 期(2025 年度)事業報告 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

事業概要

資生堂子ども財団は、「すべての子どもが笑顔にあふれ、自分らしく輝く社会を創る」ために活動しています。この目的を達成するために、「子どもへの支援」「子どもを育む職員への支援」「情報発信・共有」の事業に取り組んでいます。

活動一覧

2025 年度は、以下の内容で実施しました。

子どもへの支援

1. 自立支援

児童福祉施設や里親のもとで暮らす子どもたちが、自立してからも地域社会で安心・安定した生活をおくるための生活スキル習得や、コミュニケーションスキル向上のための研修を行っています。

2025 年度は、下記内容で実施しました。

● 「スターターズセミナー」

開催時期	1 回目 2025 年 7 月 2 回目 2025 年 10 月
開催内容	高校 3 年生を対象に、自立生活に必要なコミュニケーションや「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、226 名(児童 138 名、職員 88 名)が参加
開催/参加対象地域	愛知県、岐阜県・滋賀県(合同開催)、茨城県
研修形態	リアル

● 「WORK FIT:可能性発見セミナー」

開催時期	2025 年 11 月、12 月 (計 4 回)
開催内容	中学生・高校生を対象に、自分に向いている職業を発見するためのワークショップを開催し、68 名が参加(児童 43 名、職員 25 名)
研修形態/ 参加対象地域	オンライン/全国

● 「未来デザインプログラム」

開催時期	2025 年 8 月 22 日・2026 年 3 月 26 日
------	---------------------------------

開催内容	主に高校 1～2 年生を対象に、職業適性分析、資生堂施設(株式会社資生堂 福岡久留米工場、資生堂ジャパン株式会社 広島オフィス)でのお仕事体験や、社員との交流などを通じ、将来の進路について考えるプログラムを開催し、74 名が参加(児童 50 名、職員 24 名)
開催/参加対象地域	九州地区、中国地区
研修形態	リアル

● 「社会への巣立ちフェスティバル」

開催時期	2025 年 2 月 21 日
開催内容	高校 3 年生を対象に、社会へ巣立つ後押しと円滑な自立支援のため「身だしなみ講座」等のセミナーを開催し、児童 135 名が参加
開催/参加対象地域	東京(株式会社資生堂 汐留オフィス)/神奈川県、千葉県、東京都
研修形態	リアル

2. 資生堂子ども財団奨学金

社会的養護を経験後、大学・短期大学・専門学校に進学している奨学生に対し、使途の制限を設けず年間 50 万円(4 月・10 月は 10 万円、それ以外の月は 3 万円)を給付しました。奨学金以外の支援として、化粧品や食品と共に簡単なお役立ち情報を記載したメッセージを贈る「ぎんざ通信」を 2 度送付したほか、3 回の交流会(オンライン 2 回、集合 1 回)を実施し、奨学生同士の絆を深める機会を創出しました。

子どもを育む職員への支援

1. 資生堂児童福祉海外研修

資生堂児童福祉海外研修は 1972 年の開始以来、児童福祉業界の中核人材を約 750 名輩出しており、児童福祉領域におけるリーダーの育成や業界全体としての専門知識の向上に寄与しています。

2025 年度はカナダに渡航し、第 50 回海外研修を実施しました。

開催時期	2025 年 11 月 1 日～9 日 ※渡航研修期間
訪問国	カナダ・ケベック州
研修形態	渡航研修・リモート研修
研修団	10 名(団長:1 名、特別講師:1 名、団員:8 名)

そのほか、こども家庭庁や各種協議会大会等において第 49 回海外研修報告を実施しました。また、第 50 回を記念した特設サイトを開設し、アンケート調査(回答数 515

名)から明らかになった、施設全体の支援力向上に繋がる「重要な投資」としての研修成果を可視化し、広く発信しています。

2. 海外研修フォローアップセミナー

海外研修修了者の継続的な学びと情報共有の機会提供を目的とし、過去実施の海外研修での学びをベースとしたテーマに基づき研修修了者が報告・意見交換を行う研修会を開催しています。

開催時期	2025年9月26日
開催内容	2024年度米国研修の知見をベースに、第49回海外研修報告と「児童虐待予防と家族支援の先進的な取組み」をテーマにセミナーを実施。期を跨いだ修了者同士の交流による多角的なシンポジウムを展開し、86名が参加
研修形態	ハイブリッド

3. 世界の児童福祉情報提供

2022年に休刊となった情報誌「世界の児童と母性」の後継企画として、2024年に創刊したWebマガジン「世界の子ども福祉～実践と未来～」の第2回を発刊しました。「シームレスな自立支援を目指して」をテーマに、海外諸国の児童福祉情報や日本の現場における取組み事例を紹介しながら、日本の児童福祉のあり方を考察しました。

4. 各種助成

子どもたちを育む人が学ぶ機会を創る活動への支援として、以下の研修等に助成を行いました。

- 第10回こどものしごとフェスティバル in 東京(第29回オーストラリア・ニュージーランド研修団員 麻生信也氏)
- 日本こども虐待防止学会 第31回学術集会ほっかいどう大会公募シンポジウム(第41回カナダ研修団員 中村有生氏)
- 2025年度全国児童家庭支援センター協議会実務者研修(全国児童家庭支援センター協議会)
- 第4回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナー熊本大会(全国子ども家庭養育支援研究会)
- 第70回全国里親大会北海道大会・北海道地区里親研修大会(公益財団法人全国里親会)

情報発信・共有

地域における子育て支援・虐待防止啓発助成

資生堂子ども財団は、核家族化や地域交流の希薄化が進む中、地域の子育て家庭をサポートする施設・団体の活動に賛同し、児童家庭支援センターやその他団体が主催する子育てセミナーやオレンジリボンキャンペーンに助成しています。2025年度は24の施設・団体に助成を行いました。